

# 雌阿寒岳の噴火警戒レベルを2に引上げ

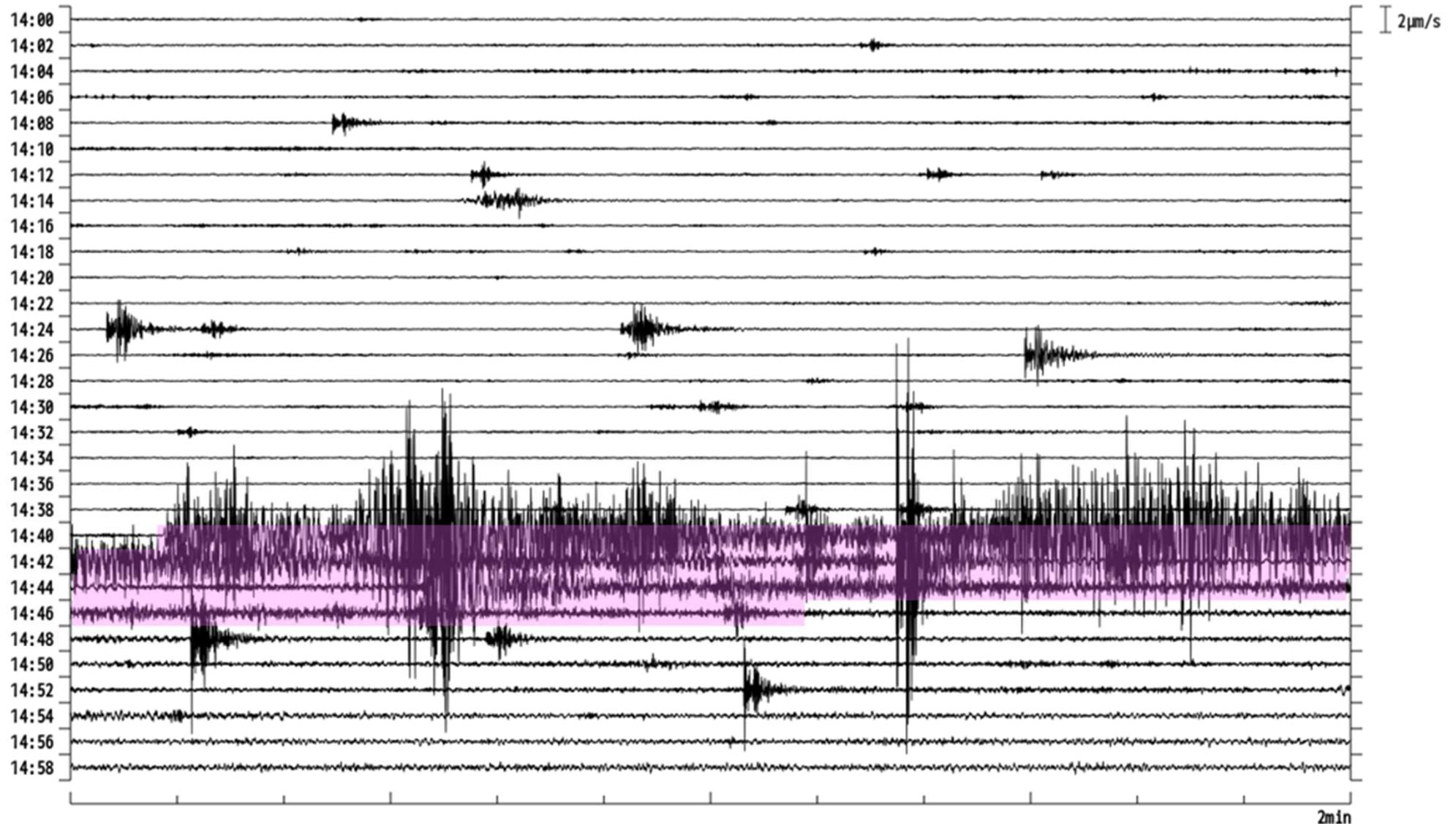
情報発表時刻 (発表官署)	令和7年9月15日15時20分 (札幌管区気象台)
情報種別	噴火警報(火口周辺)
噴火警戒レベル	噴火警戒レベルを1(活火山であることに留意)から2(火口周辺規制)に引上げ
火山活動の状況	<p>雌阿寒岳では、9月11日から火山活動がやや活発になっており、本日(15日)の現地観測により、熱活動の活発化を確認しています。</p> <p>雌阿寒岳では、今後、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性ががあります。</p>

## 防災上の警戒事項

- ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください
- 地元自治体等の指示に従ってください。
- 噴火時には、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

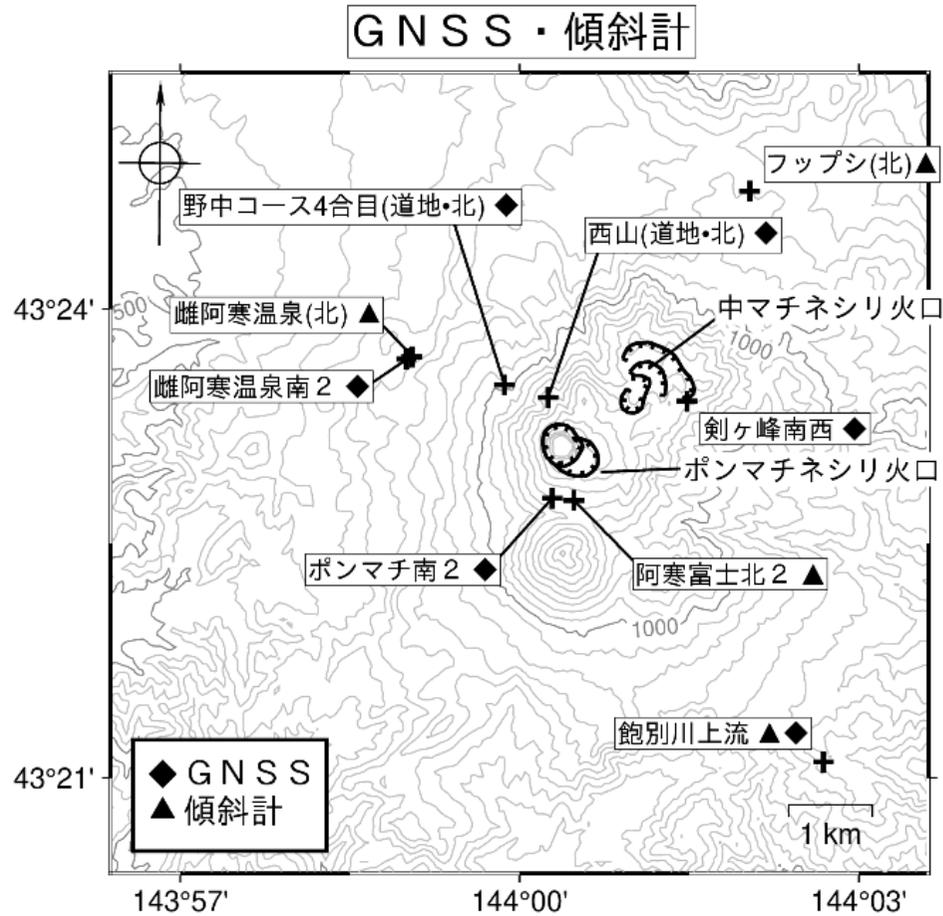


# 雌阿寒岳の活動状況

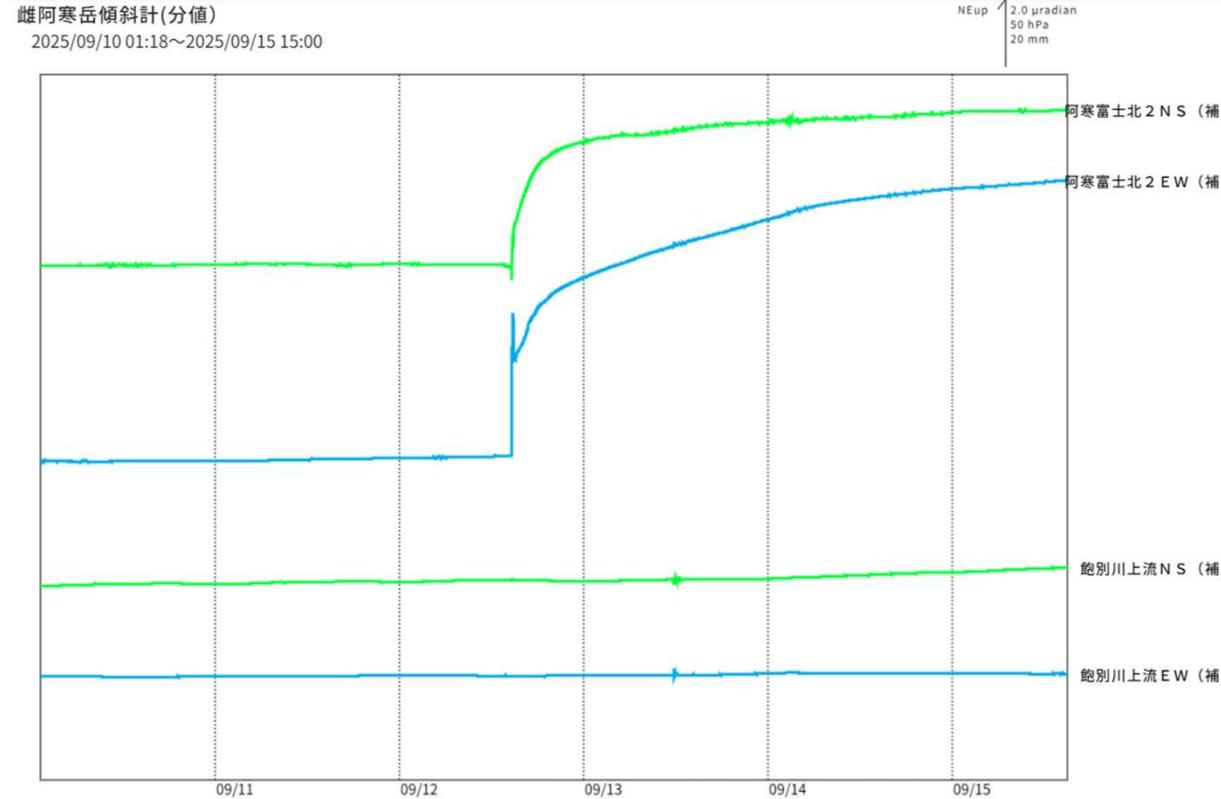


オンネット一南東観測点の上下成分速度波形（2025年9月12日14時00分～15時00分）

# 雌阿寒岳の活動状況



雌阿寒岳のGNS S・傾斜計配置図



阿寒富士北・飽別川上流観測点における傾斜データ  
(2025年9月10日00時00分～9月15日15時00分)

# 雌阿寒岳の噴気の様相

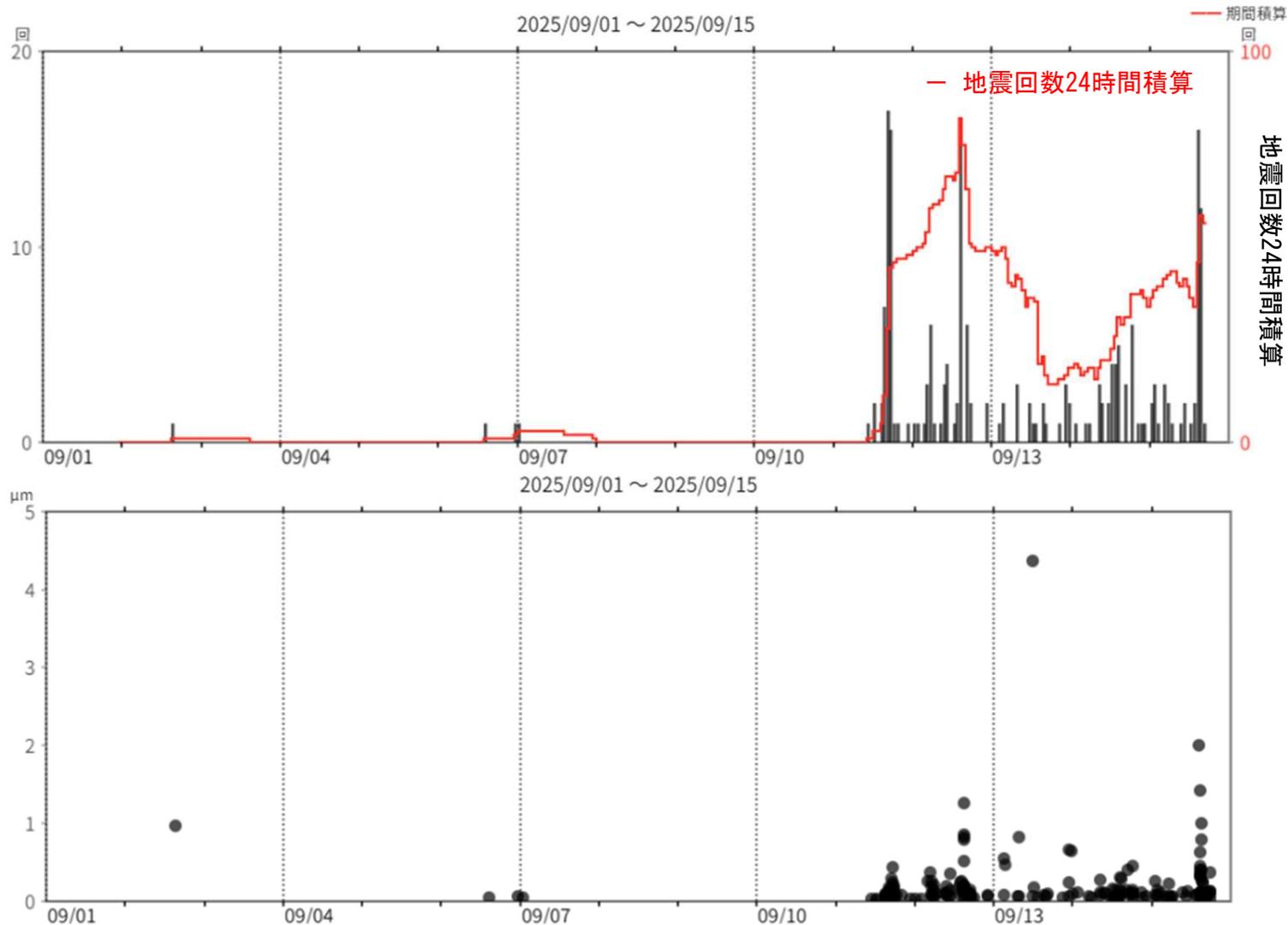


南東側から見た火口周辺の状況（上徹別監視カメラによる）

左： 2025年9月12日16時09分の状況

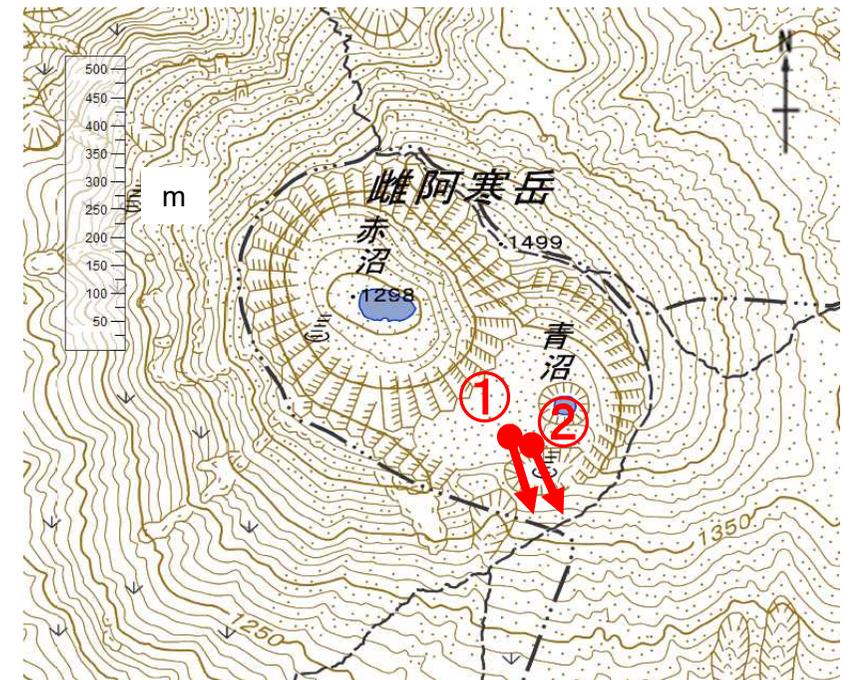
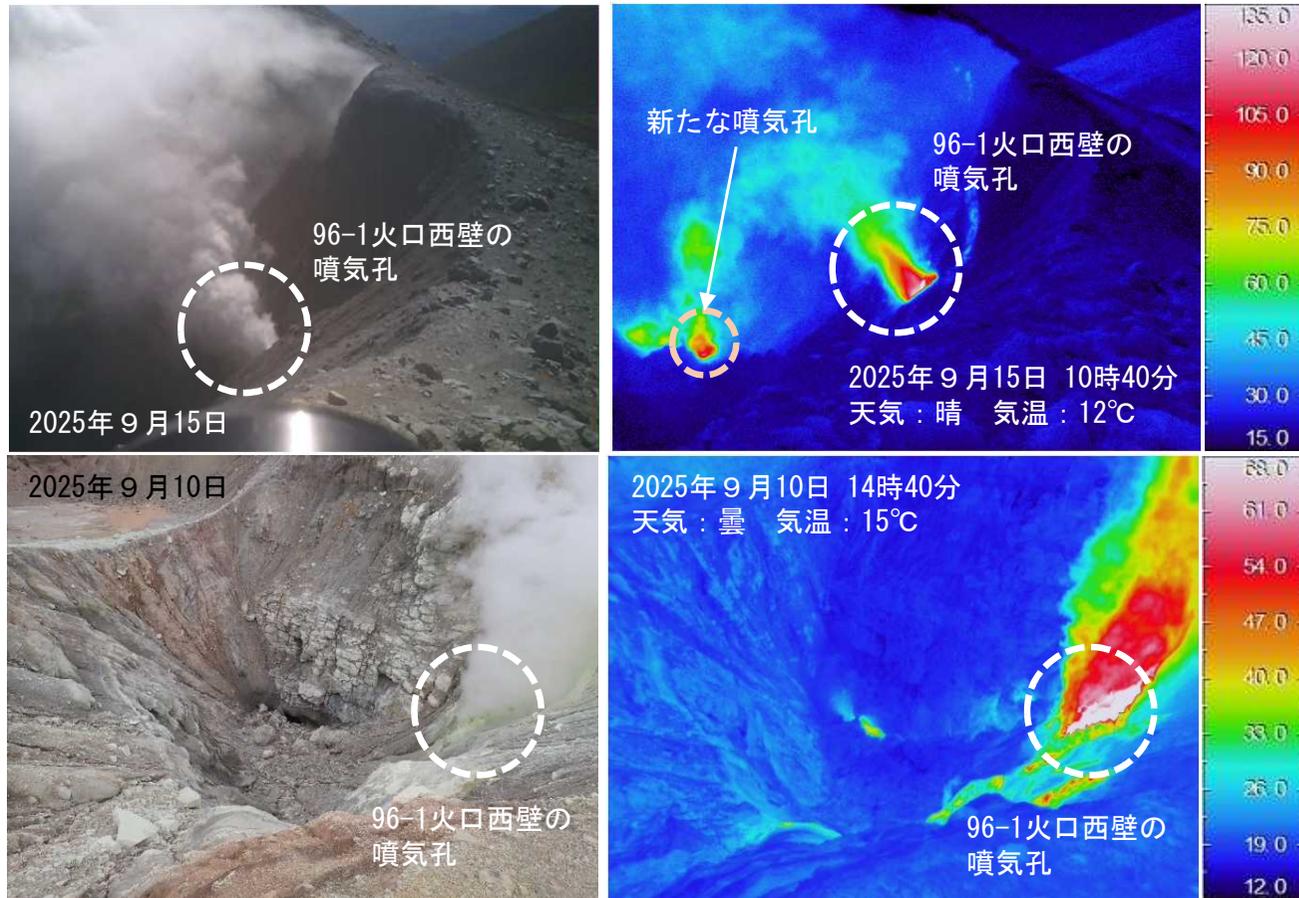
右： 2025年9月12日18時00分の状況

# 雌阿寒岳の活動状況



時別の地震回数推移（上）とオンネトー南東観測点南北成分の変位最大振幅（下）  
（2025年9月1日00時00分～9月15日15時00分）

# 雌阿寒岳の現地観測の結果-1

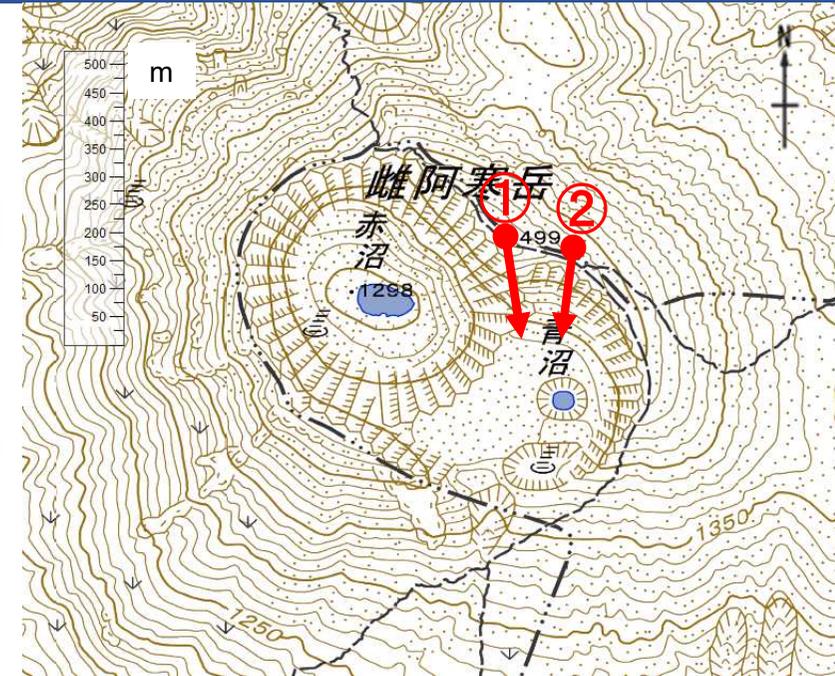


写真及び赤外熱映像の撮影方向

上：①から撮影した96-1火口内の状況（2025年9月15日）

下：②から撮影した96-1火口内の状況（2025年9月10日）

# 雌阿寒岳の現地観測の結果-2



左：①から撮影したポンマチネシリ火口内の状況  
(2025年9月15日)

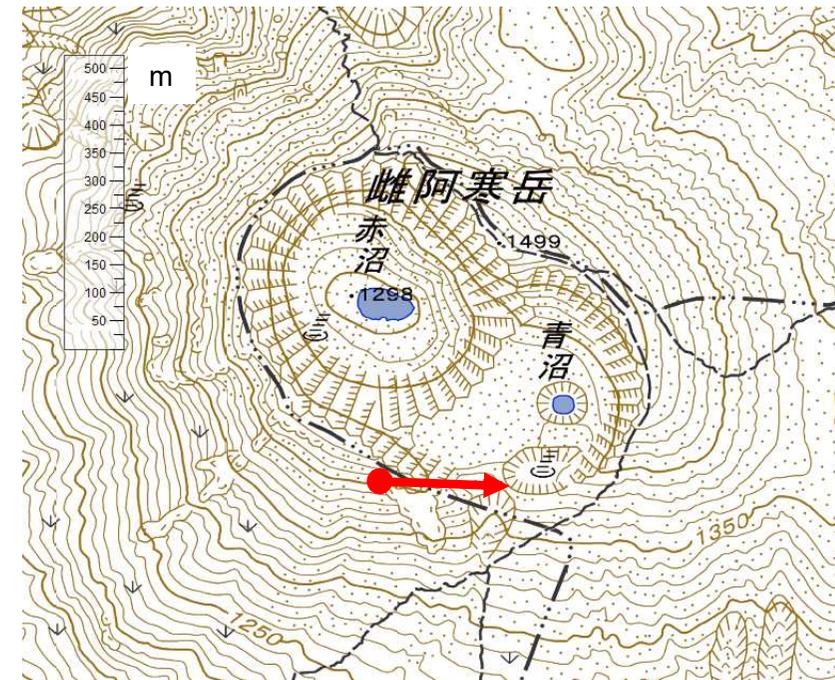
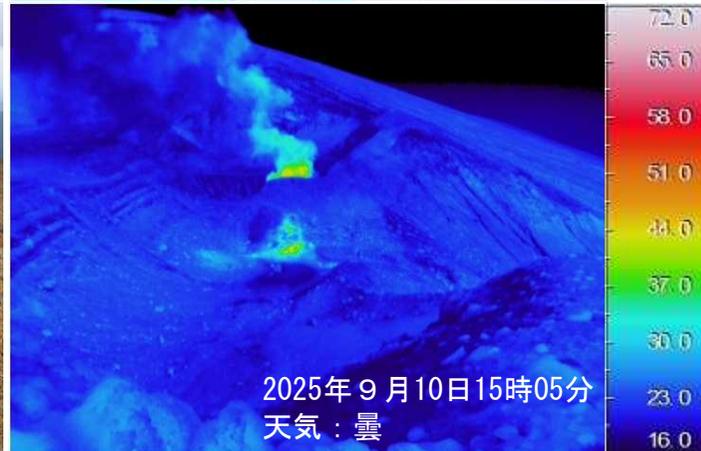
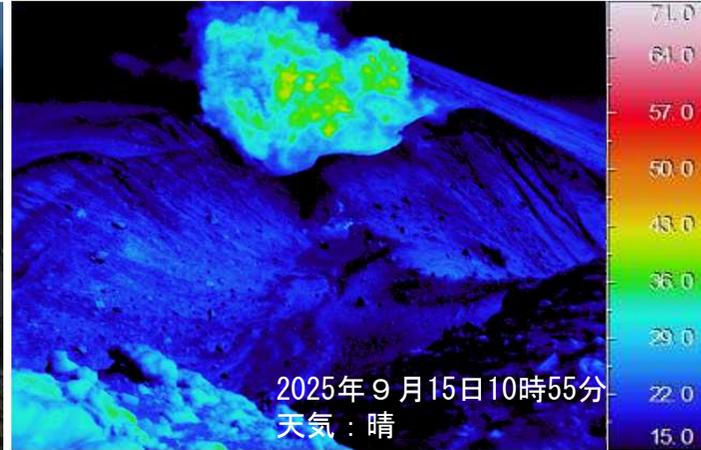
右：②から撮影したポンマチネシリ火口内の状況  
(2025年9月10日)

写真及び赤外熱映像の撮影方向



ポンマチネシリ火口内に堆積した噴出物の様子(2025年9月15日)

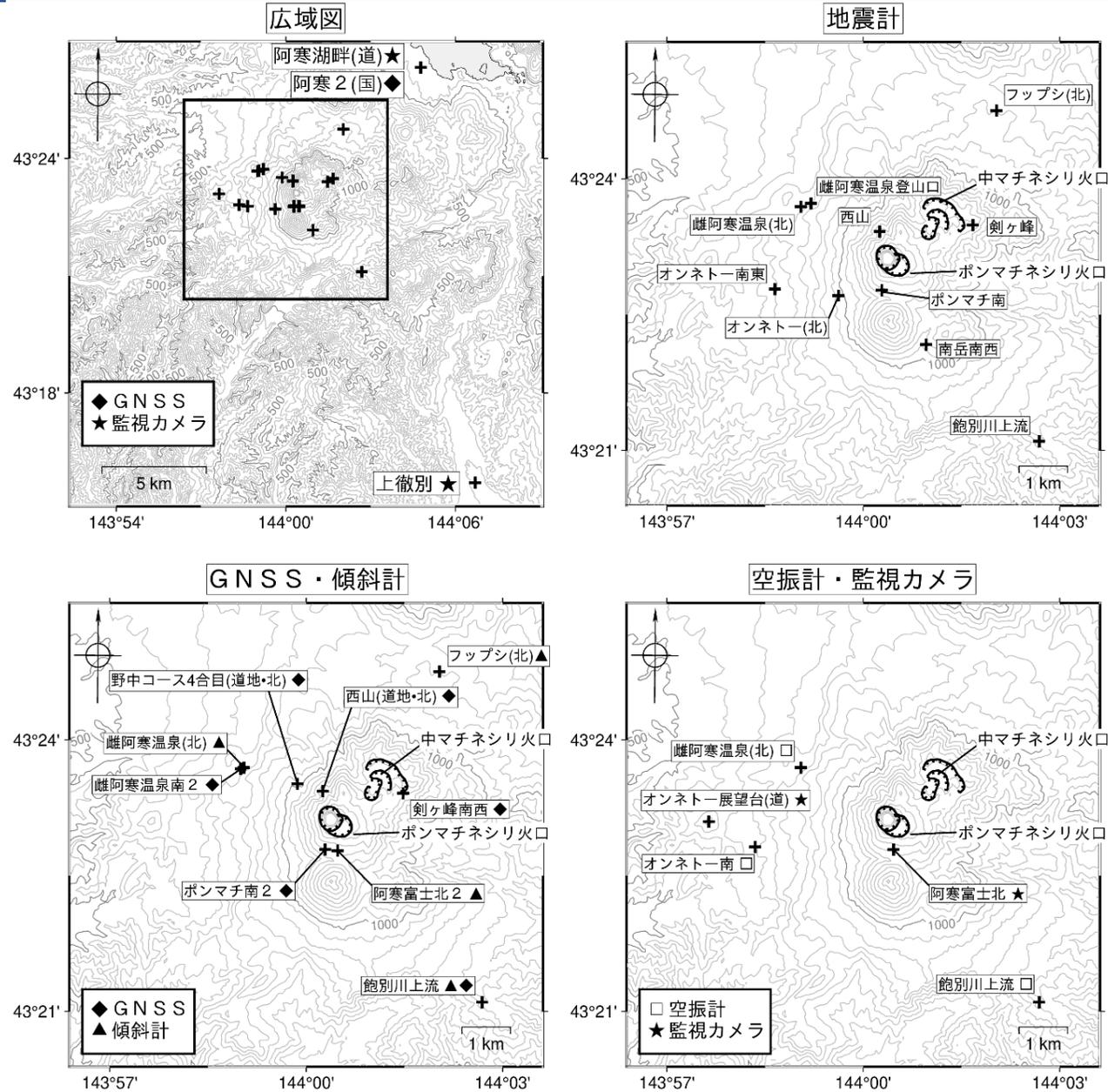
# 雌阿寒岳の現地観測の結果-3



写真及び赤外熱映像の撮影方向

上：2025年9月15日の96-1火口、第3・4火口の状況  
下：2025年9月10日の96-1火口、第3・4火口の状況

# 雌阿寒岳の観測点配置図



# 雌阿寒岳の過去の噴火警戒レベル変更

2018年12月21日	噴火警戒レベルを1に引下げ
2018年11月23日	噴火警戒レベルを2に引上げ
2015年11月13日	噴火警戒レベルを1に引下げ
2015年7月28日	噴火警戒レベルを2に引上げ
2009年4月10日	噴火警戒レベルを1に引下げ
2008年12月16日	噴火警戒レベルの運用を開始（レベル2）

# 発表した情報などについて

## ○ 発表した情報

- 噴火警報・噴火速報の発表状況  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=volcano>
- 降灰予報  
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ashfall>
- 火山に関する情報の発表状況  
<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/volinfo/volinfo.php>

## ○ 情報の解説

- 噴火警戒レベルの判定基準  
<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/keikailevelkijunn.html>
- 火山別に設定された噴火警戒レベルの解説（リーフレット）  
<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/keikailevel.html>
- 噴火警報・予報の説明  
<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/volinfo.html>
- 噴火警戒レベルの説明  
[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/level\\_toha/level\\_toha.htm](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/level_toha/level_toha.htm)
- 火山に関する情報や資料の解説  
[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol\\_know.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html)

## ○ 火山災害から身を守るには

- 火山登山者向けの情報提供ページ  
[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/map\\_0.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html)



- 火山災害から命を守るために（内閣府 防災情報のページ）  
[https://www.bousai.go.jp/kazan/eizoshiryo/tozansha\\_shise\\_tsu.html](https://www.bousai.go.jp/kazan/eizoshiryo/tozansha_shise_tsu.html)

- 気象庁防災情報X（旧Twitter）  
[https://twitter.com/JMA\\_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)



# 【参考】 雌阿寒岳の噴火警戒レベルの判定基準表（抜粋）

3	<p>【火口から2 km を超えて居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 2,000m～10,000mの有色噴煙</li> <li>・火山性微動又は爆発地震が観測され、強い空振を伴う場合</li> <li>・居住地域に到達しない程度の火砕流や融雪型火山泥流の発生</li> </ul> <p>【火口から2 km を超えて居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火の可能性】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・噴火（火口から約2 km 以内に影響を及ぼす噴火）の規模・頻度が増大</li> <li>・マグニチュード2程度以上の規模の大きな地震の増加</li> <li>・山体の浅部及び深部が関係する顕著な地殻変動</li> <li>・火山ガス放出量の顕著な増加</li> </ul>	<p>左記の条件を満たさなくなった場合には、火山活動を評価した上でレベルを引き下げる（又は警報を切り替えて警戒範囲を縮小（レベル3継続））。</p>
2	<p>【火口から約2 km 以内に影響を及ぼす噴火が発生】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 1,000m～2,000mの有色噴煙</li> <li>・火山性微動又は爆発地震が観測され、明瞭な空振を伴う場合</li> </ul> <p>【火口から約2 km 以内に影響を及ぼす噴火の可能性】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・噴火（火口から約500m 以内に影響を及ぼす噴火）の規模・頻度が増大</li> <li>・地震活動の更なる高まり</li> <li>・レベル2の状況を上回る火口温度の顕著な上昇や地熱域の顕著な拡大</li> <li>・火口付近浅部の膨張を示す顕著な地殻変動</li> <li>・火山ガス放出量の増加</li> </ul> <p>【火口から約500m以内に影響を及ぼす噴火が発生】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有色噴煙（高さ1,000m未満）</li> <li>・＜視界不良時＞火山性微動（オンネト一南東観測点で変位最大振幅0.5μm以上かつ継続時間3分以上）</li> </ul> <p>【火口から約500m以内に影響を及ぼす噴火の可能性】 次のうち2つ以上の条件を満たす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山性地震の顕著な増加（任意の24時間に300回以上）</li> <li>・火山性地震の増加（任意の24時間に100回以上）を1ヶ月程度の間繰り返す</li> <li>・火山性地震の増加（任意の24時間に100回以上）かつ ボンマチネシリ火口の噴煙高の増加（30日平均で250m以上）</li> <li>・火山性地震の増加（任意の24時間に100回以上）かつ 火口温度の上昇等（100℃程度以上上昇）</li> <li>・規模の大きな火山性地震（オンネト一南東観測点で変位最大振幅0.5μm以上）の増加（任意の24時間に60回以上）</li> <li>・火山性微動（オンネト一南東観測点で変位最大振幅0.05μm以上）</li> </ul>	<p>噴火の発生がなく（又はなくなり）、地震活動が低調な状態が1ヶ月程度継続し、その間に火山性微動がなく噴煙高が一時的に高まってそれ以上高まりが認められない場合には、レベル1への引き下げを判断する。ただし、その後さらに1ヶ月程度のうちに火山活動が再び上昇に転じたと判断した場合は、左記の条件に達していなくてもレベル2に戻す。</p>

- ・これまで観測されたことのないような観測データの変化があった場合や新たな観測データや知見が得られた場合はそれらを加味して評価した上でレベルを判断することもある。
- ・火山の状況によっては、異常が観測されずに噴火する場合もあり、レベルの発表が必ずしも段階を追って順番通りになるとは限らない（レベル下げのときも同様）。
- ・レベルの引き上げ基準に達しない程度の火山活動の高まりや変化が認められた場合などには、「火山の状況に関する解説情報（臨時）」を発表することで、火山の活動状況や警戒事項をお知らせする。
- ・以上の判定基準は、現時点での知見や監視体制を踏まえたものであり、今後随時見直しをしていくこととする。